

正しくお使いいただくために、この取り扱い説明書を必ずよくお読みください。
また、お読みになったあとは、大切に保管してください。

50A-コンデンサ+抵抗付断線片

(50A-CRツキダンセンヘン)

仕293037号 7版

取り扱い説明書

日本電信電話株式会社

安全にお使いいただくため

取り扱い説明書には、誤った取り扱いをした場合に予想される事故の大きさによって3段階の注意事項を表示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、軽度または中程度の損害を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、本品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。



◆本品を水に入れたり、ぬらしたりしないようご注意ください。火災や感電の原因となります。本品に水がかかるようなところでの使用、保管はおやめください。

◆本品を分解したり、改造したりしないでください。感電の原因となります。



◆湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所、暖房器具のそばや直射日光のあたる場所に置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。

◆窓を閉めきった自動車内など、室温が高くなる場所に放置しないでください。火災や故障の原因になることがあります。



◆落としたり、強い衝撃を与えないでください。

◆ベンジン、シンナーなどの化学薬品でふかないでください。

1. 50A-コンデンサ+抵抗付断線片について

- ・50A-コンデンサ+抵抗付断線片（以下、CR50A）は、二重ジャンパ布設時に新側交換機を現用回線から切り離すために50号「」保安器、または200号U試験弾器に挿入し使用します。
- ・コンデンサ付断線片との違いは、二重ジャンパ布設時に発生する雑音を抑止します。また、アース接続クリップ（別売）を使用しアース接続することで、抑止効果は更に増加しますので、使用を強くお勧めします。
- ・二重ジャンパ自動試験装置「7」では、CR50Aを使用した二重ジャンパ検証に対応しています。
- ・CR50Aを図-1に示します。「表」をいう文字が表示されている方をおもて面とします。

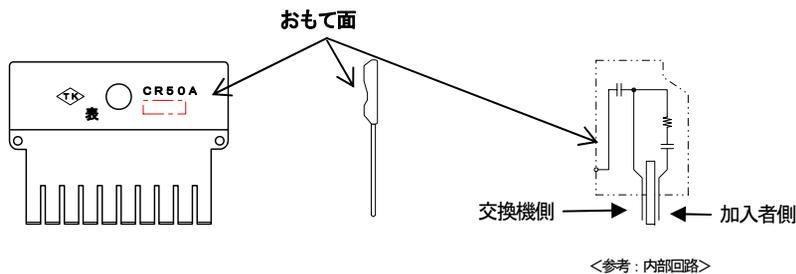


図-1

2. CR50Aの取付け方法

重要

①50号「」保安器

- ・MDFに実装されている50号「」保安器前面のUスリット端子において、交換機側の線を接続している場合、CR50Aを図-2に示すようにTS部に差し込んで下さい。

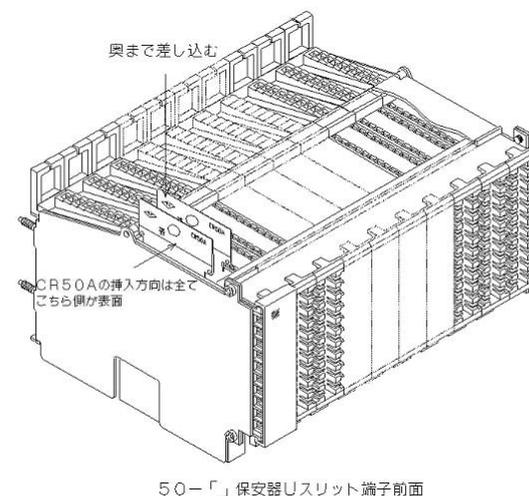
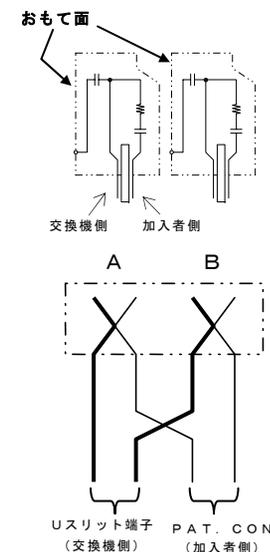


図-2



<参考：TS部回路>

重要

- ・MDFに実装されている50号「」保安器前面のUスリット端子において、加入者側の線を接続している場合は、CR50Aを上記の絵と逆向きにTS部に差し込んで下さい。

② 200号U試験弾器

- ・ MDFに実装されている200U試験弾器前面のUスリット端子において、**加入者側**の線を接続している場合、CR50Aを図-3に示すようにTS部に差し込んで下さい。

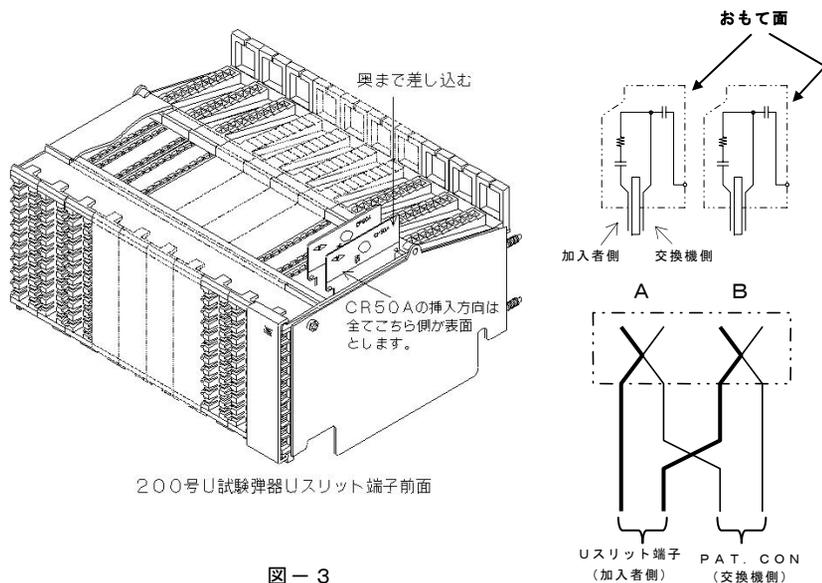


図-3

<参考：TS部回路>

重要

- ・ MDFに実装されている200号U試験弾器前面のUスリット端子において、**交換機側**の線を接続している場合は、CR50Aを上記の絵と逆向きにTS部に差し込んで下さい。

3. アース接続クリップの取り付け方法

- ・ アース接続クリップは1本で2枚のCR50Aを接続できるようになっています。アース接続クリップを図-4に示します。

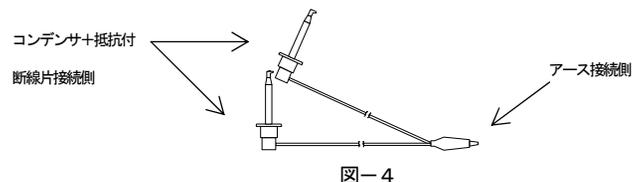


図-4

- ・ アース接続クリップは、図-5に示す2ヶ所ある接続箇所のうちどちらか「1ヶ所」にだけ取りつけてください。

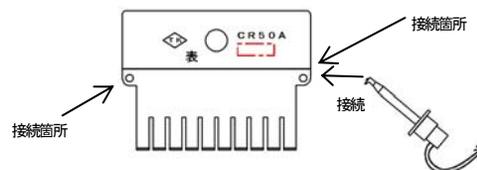


図-5

- ・ アース接続するには、50号「」保安器のフレームに直接接続したり、アース接続クリップをマルチにつなぎMDFのフレームなどにジャンパ線を使い接続するなどいくつかの方法があります。いずれの方法をとるにしてもジャンパ線の本数を増やすなどの工夫をして確実にアースに接続してください。

CR50Aとコンデンサ付断線片を混合させての二重ジャンパ検証試験は出来ません。

50A-コンデンサ+抵抗付断線片
取り扱い説明書 (CM28-2001)
平成15年 4月 4版発行



東京通信機工業株式会社

東京都港区高輪3-8-13

TEL 03(3447)2421(代)

FAX 03(3447)0426